



Rotary International District2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
 ■会長：福本良平 ■副会長：植村将史 幹事：高辻良成

発行日 / 2014年9月16日

2014-2015/10

Vol.36

No. 1710

hp: <http://naraomiya-rc.jp>
 E-mail: info@naraomiya-rc.jp
 2014-15年度当クラブテーマ

『ロータリアンとしての誇りをもって』



国際ロータリー第2650地区

ガバナー 北河原 公敬

「ロータリーは心くぱり」



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長報告

本日は報告がございませんので、一言だけご挨拶申し上げます。
 WOWWOWを観られる方はもしかしたら本日朝から観られたかも知れませんが、錦織選手は残念ながら決勝で負けました。相手はかなり調子が良かったんじゃないかという気もしております。この全米オープンで、日本人でベスト4以上になったのは96年ぶりだということで、同じ96年振りの記録がありましたので、ちょっとお話申し上げます。丁度96年前にベイブ・ルースがそのシーズンにピッチャーと野手も兼ねておりまして、13勝して11本のホームランを打ったという記録がありまして、それから96年、今年日本ハムファイターズの大谷という選手がピッチャーと野手を兼ねておりまして、今丁度両方とも10勝と10本を達成しました。この後頑張れば、ベイブ・ルースの記録を抜いてくれるんじゃないかと思っております。若い選手にはこれから色々記録を作っていってもらえると思いますが、ゴルフのメジャー四大大会では誰が最初に優勝できるのかな、と楽しみにしております。

委員会報告

社会奉仕委員会：中篤委員長

・去る9月3日の水曜日、奈良市交通対策協議会が奈良市役所で開催され、本来でしたら社会奉仕委員会で出席すべきところでしたが幹事が代わりに行って下さいました。その中の挨拶で、去年度に比べて交通事故が641件増加している、また、死亡事故も増えており死者が8名増えている、ということでしたので、皆さんご注意なさってください。

・9月21日に秋の交通安全運動市民決起大会が13:30～学園前の学園前ホールで開催されます。当クラブにも出席の要請が来ておりますので、出来るだけたくさんの方にご出席頂きますよう宜しくお願い致します。尚、Make Up扱いにはならないとのことですので、よろしくお願ひ致します。

例会プログラム

第11回 9月16日

通算1710回

1. 開会の点鐘
2. ソング
「夕焼け小焼け」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 新入会員歓迎親睦例会
6. 閉会の点鐘

例会状況報告

第10回 9月9日

通算1709回

◎会員数 78名
 ◎出席規定免除者数 1+25名
 ◎出席義務者数 52名
 ◎欠席者 8名
 ◎出席者 59名
 ◎出席率 88.06%

第8回 8月26日

通算1707回の修正

◎会員数 78名
 ◎出席規定免除者数 1+25名
 ◎出席義務者数 52名
 ◎欠席者 12名
 ◎補填者 2+11名
 ◎出席者 70名
 ◎出席率 98.59%

・秋の交通安全県民大会の中で、我がクラブが表彰されることが決定致しました。交通安全優良団体ということで、表彰されます。9月18日13：30～15：30まで、橿原万葉ホールで開催されまして、会長が表彰を受けられるということですので、誰も居ないということでは具合が悪いので、出来るだけたくさんご出席頂きますようこちらも併せて宜しくお願い致します。

RID2650・地区大会委員会：野崎委員

先ず地区大会委員会委員長、委員、及び幹事会大会集会担当幹事、副幹事の皆さんにお知らせです。9月29日（月）10：00-11：30の1時間半ほど予定しております。場所は奈良ホテルの例会会場前のホールで、地区大会に向けての今後の概要とスケジュール等の打合せをしたいと思いますので、是非ご出席の程、宜しくお願い致します。お名前を申し上げます。飯田さん、小池さん、楠木さん、矢追さん、谷川さん、松岡嘉平治さん、森さん、大塩さん、堀内さん、門脇さん、武中さん、中奥さん、私です。以上です。よろしくお願い致します。

幹事報告

・桜井ロータリークラブより、例会場例会時間の変更が参っております。一時的なものではなく恒久的に変わるようです。10月から変更になりますという案内になっております。Make Upに行かれる際は、ご注意ください。

例会会場変更のお知らせ

■桜井ロータリークラブ■
場所：橿原観光ホテル（TEL：0744-22-3235）
橿原市久米町862
時間：12時～13時

・国際ソロプチミスト奈良より、チャリティバザーをやりますので、どうぞお越してください、という案内が参っております。興味のある方は、私までお申し出ください。
・次週親睦友愛となり、アルコールが出ますので、ご配慮をよろしくお願い致します。

卓話

日本さつき盆栽協会 会長 吉川隆憲様
「盆栽から見る日本文化」



只今ご紹介いただきました吉川と申します。このような席にお招きいただき本当にありがとうございます。さて、今日週報といいますが、会報を見ておられますと楠下さんと仰る方が東洋では唐の時代より左側が上、西洋では右が上と言われているとのことで今日初めて知りました。ことほどさように、東洋と西洋というのはいろんな文化で違ったところがあります。お配りした資料には出ておりませんが、日本の文化をいち早く西洋に広めたのはシーボルトという皆さんご存知のオランダの方です。生まれはドイツですが日本の文化を西洋に伝えられた功績者です。西暦2000年私が淡路の花博で活動しているときもオランダの皇太子が来られまして、シーボルト来日100周年でした。その時に記念碑を建てられました。

シーボルトさんは非常にいろいろな功績を残されていますが、中でも私は皆さんご存知のカサブランカという百合、この百合は日本の百合をシーボルトが持ち帰って100年目でできた花です。今や百合は世界の花としてオランダから毎年新しい花が創り出されているところです。この百合は実は日本が一番多くアメリカに輸出しておりました。それをオランダが100年かかって奪いさったということです。この百合はゴッドファーザーという映画をご覧いただくとわかるのですが、何度も棺が出てきます。その棺の上にのせる花が百合でございます。日本では白い菊の花を仏前に飾ったり、お葬式に登場してまいります。この白い花というのはアメリカでは結婚式に使う花です。というように洋の東西で非常に文化の違いがございます。

そのようなことをいち早く広めていただいた方が、アーネスト・フェロノサという方です。彼は25歳で日本に来ており、55歳に亡くなるまで日本の文化に感激されました。岡倉天心と二人で日本の文化、文明を広く訪ねて回り、残さなければいけないと行ってくださっていたそうです。一番有名なのは法隆寺の夢殿の久世観音の白い布を外すのに、法隆寺のお坊さんたちは涙を流したといわれています。廃仏毀釈が明治のころに行われ日本の文化が粗末に扱われ興福寺の五重塔が250円で売りに出たというような話もあり、興福寺の境内が奈良公園に飲み込まれると言ったら言い過ぎかもしれませんが、そのような事になってしまった、というような経緯がございます。そういったことを止めたのがアーネスト・フェロノサということです。そして岡倉天心が今の東京芸大の校長になっています。そのようなことで一番最初に盆栽が世界に紹介されたのは、オーストリアのウィーンです。明治6年に万博に日本人が盆栽を持って展示をしています。その時にお茶、お花、お相撲も紹介したのがアーネスト・フェロノサです。

一番古い盆栽はいつからか、ということが言われてずっと来ました。謡曲「鉢の木」、佐野源左衛門、この方が足利義政が僧侶になって伺った時に、盆栽の鉢の木を火の中にくべて暖をとらせた、ということがあって「いざ鎌倉」に呼ばれた、ということがございます。それが長く盆栽の起源と言われてきましたが、ごく最近になって、中国の唐の四代皇帝「中宗」の次男李賢の陵墓の壁画に鉢花を持った侍女図が描かれており、これが一番古い文献と言われています。これによって、大きく歴史が変わり中国が起源であろう。もちろんローマ帝国にも鉢に植えた植物はありましたが、このような盆栽らしきものはこの文献に書かれているものであろうということになります。その後日本では、手慰みという形で上流階級のお楽しみという形であったんであろうという風に思われます。近々は昭和になってやっと民衆が楽しむようになります。

日本の文化を大切にしようというきっかけは昭和12年のパリの万博であります。ここで盆栽は世界中に広まり2、3年前にはパラグアイから盆栽を勉強したいという方が私のところに来て、半年おりました。大震災があり、帰ってしまったのですが、南米あたりでは大ブームになっています。もちろん、アメリカ、ヨーロッパ、イタリアには盆栽の学校があります。日本人は自分の文化を大事にするのが下手なようですが、そのあたりを見直していただいてという思いで、日夜盆栽をやっているわけでございます。

盆栽というのはどういうものであるのか、日本で初めて美術館の中で展示されたのが第一回の国風盆栽展です。今でも日本一の展示会です。また、南画の手本である「芥子園画伝」を基に盆栽の手本にしたといわれております。

さて、皆さんが仮に盆栽に接せられたとし、お話をさせていただきます。我々がその中で感じ取らなければならないものは、日本人は目に見えないもの、聞こえないもの、味わえないもの、そのような五感に感じ取れない何かを感じ取ろうとしたものではないかと私は盆栽の世界を見えています。特に本日飾っております盆栽や配布の写真を見させていただきますと分かりますが、我々は「席」と呼んでおりますが、間仕切りから間仕切りまで、約1メートル80、畳一枚分です。これを一席と呼んでいます。この一席を一つの絵として鑑賞していただく、ということがございます。後ろは通常白布をかけたりします。それは後ろを真っ白にすることで見る人がどんな風景を思い浮かべることができるのか、10人いれば10人の風景があつてよいということです。それがいわゆる盆栽の世界でございます。手前にはいろいろなものが置いてあります。さつき盆栽、前置きという風に書かれておりますが、これはいわゆる前の風景を表現したものですし、その後ろに、添配と申しまして展示コンセプトと書いてあります。季節をあしらった茶会席用の膳です。季節の花鳥を書いた金蒔絵で秋を表しています。このように秋ですよというようなことを感じ取れるものを説明文を加えずに物で感じ取ってもらう、盆栽の席には注釈文とか題名がないんですね。飾り手のほうがご覧になられる方に強要することがない、逆に言うと不親切ということであるんですが、先ほども申しました通り見えないものを見ようとする。風知草という草があります。この葉が揺らぐことにより、風があるんだなとを感じる、また右・左、光はどこから来ているのか、風はどこから吹いているのか、水はどこを流れているのか、というのは全部見た人にお任せでございます。もちろん仕掛けはしてありますが感じ取っていただくことが大切です。それから花台の高さ、展示しております五葉松は高い台にのせておりますが、これは崖の上にある樹ですよということを表現しております。その手前には台湾オギがございます。これは水辺の物ということですのでその下には水が流れているのかな、花台のところから

水が滴っているのかな、もしかしたらぴしゃぴしゃ音を立てているのかな、これが聞こえないものを聞こうとする日本人の感性でございます。

薬師寺で展示会を12年になりますが行っております。世界中からいろいろな方がお見えになり、一番遠いところではアイスランドの方がございます。私は英語がしゃべれないのですが、通訳を通じていろいろ話しております。その中でこれが日本人の無いものから物を創り出す力になっているという、また何も言わなくてもわかっていたかのようにする心配り、そのようなものが日本人の中に脈々と受け継がれているんだ、という風に話をします。ある時はカナダの高校生20名に日本のハイテクノロジーはこの盆栽の中にある、そして奇抜な発想、もてなしの気持ちはすべてこの中にあるんだという話をしました。これは決して盆栽だけに見られることではなく、日本の文化の隅々まで、私たちの骨の髄までいきわたっているんだという風に私は確信いたしております。

最後になりますが、盆栽を鑑賞するうえでの一番大切な事と言われていることについてお話しします。まず、「根張り」、根が大地をつかむように四方八方に伸びている状態、「富士根張り」と言います。もともとは細い根だったわけですが幾十年経って板の根のようになってしまいます。次に、「立ち上がり」、根元から一番最初の枝ぐらいの幹の姿、形をいいます。この姿かたちをどのように捉えるか、これはそこから上の部分とのマッチングが非常に大事にされます。またこの立ち上げは後から修正が出来ないということで大切にします。

そして最後に「持込み」です。盆栽の材料はどこから来るのか、実は明治のころはたくさんの方々が楽しめる状況になかったこと、大きな盆栽は山取りといって山から採ってきたものを加工して盆栽に仕立てていったという風に言われております。しかしながら需要が高まり、盆栽人口が増えてくると、供給が追いつかなくなり、生産者がたくさん生まれました。地域では埼玉、新潟、愛知、兵庫、広島、高松、熊本などが有名です。このような植木の産地が生まれてきてある程度のところまで生産者の方が育ててくださったものに盆栽の作家たちが盆栽としての息吹を吹き込むということに現在はなっています。特にさつきなどは野山にございませんで人間が小さな芽を挿し木し、育てていきます。写真のように65センチぐらいになったというものもあります。この木は、今私のところに来て3年目を迎えて育てております。これを盆栽として仕立てていくのは私が死ぬまでの仕事だと思っております。

ことほどさように若い人はそのようなことはしないのか、若い人は答えをすぐに求めてしまうところがあります。私たちは3年、5年、10年と言います。「この木は3年経ったらよくなる」というようなことを言います。若い方は「えっ、僕何歳になっているの?」と言いますが、それを考えると何もできない。90年経った盆栽だっていつ枯れるか分からない。まず、今日の水を置こう、まずこの冬枝を剪定しよう、この日々が何年かにつながっているだけのことです。また、今日帰りがけに興味ある方は見ていただきたいと思いますが、小さな鉢に入っている盆栽、これで30年ぐらいたっています。この鉢にずっといるのかというのが一番不思議なところではないかと思いますが、決してそういうことではありません。根を切って、葉を切って三年ぐらいたつとディストラクションします。再構築します。そういうことが盆栽にも必要かと思っております。私たちの人生の中でも見直すべき時期があるとすれば、盆栽も同じかなと、それが長い間育てていく秘訣かなと思っております。どうもありがとうございました。



同好会活動

奈良大宮ロータリークラブ山歩き同好会 (NOMC) 第200回 登山報告

富士山 (3776m)

(日 時) 平成26年8月20日(水)～21日(木)
(参加者) 麴谷・森下・小池・楠原
(地元案内人) 松本・橋爪・本岡

8月20日(水)
富士山本宮浅間大社参拝
浅間大社は富士山を浅間大神として祀ったことを起源とする神社であり、登山安全を祈願して参拝

8月21日(木)		標高
富士山登山行程表		
5:00	5合目出発	2400m
5:30	6合目出発	2490m
6:45	新7合目出発	2780m
9:15	8合目出発	3250m
10:30	9合目出発	3460m
11:40	9合5勺目出発	3590m
12:10	頂上 (浅間大社奥宮参拝)	3756m
12:20	剣ヶ峰	3776m
13:50	下山開始	
17:45	5合目到着	



12時間余りの山行でしたが、天気に恵まれ比較的涼しく山歩きを堪能しました。
日本最高峰富士山3776m 登頂！お疲れ様でした。(楠原：記)



楠木重樹 君	吉川隆憲様 本日の卓話よろしくお願ひ致します。
清岡義教 君	先日、父である清岡正教の一周忌の法要を無事に終える事ができました。ロータリアンの皆様、色々とお難うございました。
小池恭弘 君	奈良大宮RC山歩き同好会9月7日大峰山山上ヶ岳に登ってまいりました。計200回の記念すべき登山でした。無事故でございました。
佐川 肇 君	先週阪和道を和歌山へ走っていたら、逆走車ともう少しで正面衝突！翌日の新聞によると76才の男性が下り口を間違えてUターンしたらしいです。命拾いでニコニコ
潮田悦男 君	転落事故から無事生還しました。感謝。
岡 中 君	本日のお月様は、いつもより大きく見える「スーパームーン」！！次回、スーパームーンが見えるのは、1年後の9月28日です。本日のスーパームーンに願ひをこめてニコニコ！！（奈良ホテル屋上庭園よりもご覧いただけます。お時間ある方は、会終了後、是非どうぞ）
増井義久 君	9月13日 奈良公園でさくべいまつりをさせて頂きます。その時、春日大社のハクタクうどんを発表させていただきます。
金星 昇 君	残暑厳しき折、暮々も御自愛下さい。
堀内眞治 君	ニコニコ協力
辻本和弘 君	ニコニコ協力
野末勝宏 君	ニコニコ協力
鈴木 譲 君	ニコニコ協力
河野里志 君	ニコニコ協力
西本隆一 君	ニコニコ協力
弓場裕史 君	ニコニコ協力
森山斗福 君	ニコニコ協力

例会変更のお知らせ

9 月

■ 橿原ロータリークラブ ■

・ 9月26日（金）・・・ 橿原RAC・橿原学院高校IACとの合同夜間例会の為、例会時間変更。

時間：18：00～

※ビジター受付：9月26日（金）12：00-12：30まで橿原ロイヤルホテルフロント横にて行います。

10 月

■ 京都山城ロータリークラブ ■

・ 10月1日（水）・・・ 松茸狩り家族例会の為、変更。

日時：10月4日（土）11：00～

場所：山城森林公園

※ビジター受付：10月1日12：30-13：00までけいはんなプラザ1Fにて行います。

次週の例会

平成26年9月23日（火）休会

次々週の例会

平成26年9月30日（火）

卓話 一般財団法人 たんぽぽの家 理事長 播磨靖夫様

演題 「障害・アート・その未来」